

2課商品ラインナップ②

第2回の今回はペーパータオルとトイレットペーパーについて紹介したいと思います。

ペーパータオル(タオルペーパーとも言います)は、衛生用品の一つで手洗い後にその手の水をふき取るために使用する使い捨ての紙製のタオルです。

使い捨ての製品ですが全て再生紙から作られているわけではなく、100%パルプで作られているものもあります。吸水性や手触り・柔軟性のためにエンボス加工されているものもあり、一定枚数がビニール包装されているタイプとロール状になっているタイプの2種類があります。

弊社では一定枚数がビニールで包装されているタイプの商品を多く取り扱っています。ティッシュを出すようにそのままでも使用できますが、ペーパータオルホルダー(ディスペンサー)に入れての使用をお勧めします。弊社ではペーパータオルホルダーの販売も行っているので詳しくは担当営業までお問い合わせください。

ロール状のペーパータオルに関しては台所で使用するキッチンタオルを中心に取り扱っています。手を拭く以外の用途にも使用できるように厚手になっており、水や油をしっかりと吸収できるようになっています。こちらは収納スペースや持ち運びを考えた、倍巻きの商品もあります。

どこのご家庭にもあるトイレットペーパーは業務用・市販用の両方を取り扱っています。ペーパータオルと同様に多くは再生紙でできていますが、市販用製品の中には100%パルプで作られているものもあります。シングル・ダブルだけでなく最近ではウオシュレット用の3枚重ねの製品も出ています。

包装は1個ずつ包装された個包装のものから包装紙に包まれておらず箱にそのまま入れられている無包装のもの、4・6・8・12・18ロールでビニール包装されているものがあります。市販用製品は香りのついているものもあります。

長さはシングルで60m、ダブルでは半分の30m前後が普通ですが、長さを1.5倍にしたシングル90m、ダブル45mやシングルで2倍以上巻いてある長尺タイプのもの、それ以上の170m巻や200m巻の商品もあります。

トイレットペーパーの規格は、ホルダーにかける関係上標準化されており、日本のJIS規格では巾114mmに決められていて、芯の内側の直径は38mmのものが主流ですが、紙の芯の入っていない、コアレスタイプのものもあります。

コアレスタイプは紙芯を使用していないことからゴミの少ないエコな商品です。専用の芯棒を使用しなくてはならないものと通常の芯ありと同じ芯の直径が38mmの2種類があり、ご使用されているホルダーに応じて選ぶこともできます。

詳しい商品に関しては弊社の担当営業か営業2課までお問い合わせください。

(お)

スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業1課
027-361-5734
営業2課
027-361-5780

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、
疑問などありましたら、
ご遠慮なく営業または、
下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-arai-yoshio
@kamisugiura.co.jp

ニュースレターQ

天保8年(1837年)創業

スギウラ株式会社 027-361-5808

2012年7月1日 発行 第 60号

特 集

・ 分かりにくいグリーン
購入法を攻略

・ 連続特集「ユポ」②

・ 2課商品ラインナップ
②

分かりにくいグリーン購入法を攻略

7月になりました。

夏至も過ぎ、日いちにちと日が短くなっていく時期ですが、夏はこれからが本番です。海に山にと出かける計画を立てている方も多いと思います。

昨年 of の今時分は「節電」の大本令の下、各人・各企業が知恵を絞って、いかに消費電力を減らそうかと腐心していたことが思い出されます。今年も状況はほとんど変わりませんので、節電のための工夫や商品が、巷をにぎわせることでしょう。

ところで小紙も今号で60号を迎えました。途中、震災で1回お休みを挟みましたが、丸5年の長きに渡って続けられたのは、ひとえに皆様のご愛顧のお蔭です。これから皆様読んで頂ける紙面づくりに努力いたしますので、変わらぬご愛顧をお願いいたします。

さて近年、官公庁からの見積り依頼に、調達基準として「グリーン購入法評価値80点以上のもの」という条件を、よく見るようになりました。「評価値80点」と言われても算出方法が複雑なため、理解しにくいのではないのでしょうか？

今回は、その点数の算出方法をご説明いたします。紙は分類上、上質などの非塗工紙と、コート紙などの塗工紙に区別されています。

大枠で考えると、非塗工紙は、古紙パルプなど「環境に配慮したパルプ」と「紙の白さ度」から、塗工紙は、同じような「環境に配慮したパルプ」と「紙表面の塗工量」から算出されます。詳しい算出方法は以下の通りです。

まず、必要な数値を列記します。非塗工紙と塗工紙の2つの分類がありますが、必要になる数値は1項目を除いて同じになっています。

共通項目

紙を構成するパルプの比率

1. 古紙パルプ配合率
2. 森林認証材パルプ配合率
3. 間伐材パルプ配合率
4. その他の持続可能性を目指したパルプの利用割合

非塗工紙の場合

5-1. 白さ度

塗工紙の場合

5-2. 塗工量

以上の各項目をご確認ください。その上で、各数値を評価値に換算する方法を提示いたします。ただし、非塗工紙と塗工紙どちらの場合も、対象になるのは古紙パルプ配合率が60%以上のものとなっています。

1. 古紙パルプ

古紙パルプ配合率(%)	ー	10
-------------	---	----

※古紙パルプ配合率は60%以上のものが対象
例) 70%なら70ー10＝60点

2. 森林認証材パルプ 及び
3. 間伐材パルプ

森林認証材パルプ配合率(%)と 間伐材パルプ配合率(%)の合計 (40が上限)

※仮に合計点数が50や60など、「40」を超えた場合、評価値は40になります。

4. その他の持続可能性を目指した
パルプ

その他の持続可能性を目指した パルプの利用割合(%)	×	0.5
(20が上限)		

(裏へ続く)

※前項目同様「20」を超えた場合、評価値は 20 になります。

※この項目のパルプとは、例として、資源の有効活用となる「廃木材」や「建設発生木材」及び、「バガス（さとうきび）」などの廃植物繊維を指します。

以上が、4 項目のパルプの構成比における評価値の算出方法です。必要な数値は 4 項目ですが、算出される評価値は 3 項目なので注意が必要です。その **3 項目の評価値の合計がベース**になります。非塗工紙も塗工紙も、ここまでの計算は同様に行ってください。

次に非塗工紙と塗工紙で異なる部分の算出方法です。

5-1. 非塗工紙では紙の白色度を用います。「75」という設定値から白色度を引きます。

75	－	白色度(%)	(15 が上限)
----	---	--------	----------

5-2. 塗工紙では紙の塗工量を用います。設定値「20」から塗工量に 0.5 を掛けた数値を引きます。

20	－	(塗工量(g/m ²) × 0.5)	(15 が上限)
----	---	--------------------------------	----------

※この両項目の数値は「15」を超えた場合は、15 が評価値になります。

※マイナスになった点数は 0 点扱いです。

例) npf 上質グリーン 70 (PEFC)

	数値	計算式			評価値
古紙パルプ	70%	70	－	10	60
森林認証材パルプ	30%	30	＋	0	30
間伐材パルプ	0%				
その他持続可能性パルプ	0%	0	×	0.5	0
白色度	75%	75	－	75	0
総合評価値					90

以上で各評価値の算出は終わりです。後は、先に算出したベースの評価値に、それぞれの紙の分類に応じた評価値を加算します。それが、「総合評価値」となります。

古紙パルプの配合率が 60%を下回ってしまうと、その数値は評価値としてみなされないというのは前述しました。そうすると、評価値の大半の点数が加味されないことになってしまいます。そのため、古紙パルプ 60%未満の商品は、他の評価値を合計しても、決してグリーン購入法の調達基準を満たすことが出来ません。その点は、十分にご注意頂きたいと思います。

では例題として、日本製紙の適合商品を使って、上記の評価値を計算してみます。(下表)

グリーン購入法の評価値を算出するための必要数値や、その数値を使った算出方法が、お分かりいただけましたでしょうか? 「分かりづらい」とのことであれば、再度勉強して、改めてご報告させていただきます。

(K)

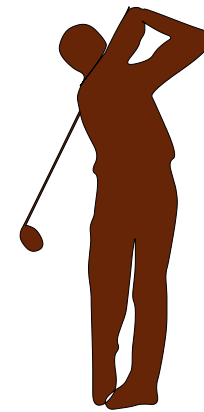
連続特集「ユポ」②

先月に引き続き合成紙「ユポ」のお話です。ユポは植物繊維を原料としない合成紙です。合成紙とは、明確な定義はありませんが「合成樹脂を主原料とし、その特徴を残しつつ木材から作られたいわゆる“紙”の持つ種々の性質（特に白さや不透明性などの外観と広範な印刷・加工性能）を付与した製品」と、一般には理解されています。しかし近年は上記に当てはまらない、例えば一般の紙とプラスチックフィルムを組み合わせたものも「合成紙」と言われており、その定義は曖昧なものとなっています。

ユポの主原料はポリプロピレン (PP) と、無機充填剤です。これらを混ぜ合わせ「二軸延伸フィルム方式」で薄く紙状にしたフィルム内部に微細な気泡（マイクロボイド）を生成させ、白くします。気泡で白くなるのは、水あめと同じ原理です。また気泡が入っているので水に浮きますし、同じ厚さのコート紙に比べて重さは 2/3 程度しかありません。

ここでユポの種類と歴史を、簡単にですが見ていきたいと思います。

合成紙の開発が高度成長期に始まったことは前号で触れました。オイルショックを挟み長い開発期間を経た後、1981 年にユポ FPG が、ユポ一般として登場しました。その後 1987 年にハイグロス（高光沢）のユポ GFG、1994 年に半透明のユポ BLR と続き、1997 年にユポ FGS が FPG に替わるものとして発売され



ました。これは FGS に紙粉改良・UV 適正を付与したものです。

そして世紀が変わり、2002 年にスーパーユポ FRB が発売されました。これは片面しか印刷できないものの、ユポ用ではない一般インキで印刷できるユポとして大いに注目されました。乾燥が早い点も好評でした。今では商業用そして選挙用ポスター等に、多くこの FRB が使われています。

2005 年にはウルトラユポ FEB が発売になりました。印刷はユポインキ専用ですが、両面が使えることと、速乾性が FGS に比して向上し、写真再現性もアップしました。現在はこの FEB が、ユポの主流のようです。

2009 年には BLR を改良した BCR、そして前号で紹介したサクシオンタックと、吸水機能のあるアクアユポ LAR が、今年 2012 年にはユポ静電吸着も登場しました。

以上、紙面の都合もあり簡単に触れるに留まりましたが、このようにユポは様々な種類、そして用途があります。次回以降は、それらの部分をもう少し掘り下げていきたいと思います。

そして弊社では、今年の 8 月 1 日（水）～ 10 月 31 日（水）にかけて「ユポ・キャンペーン」を行います。お買い上げ金額に応じて、景品を進呈いたします。詳しくは、弊社営業がお持ちするお知らせをご覧ください。（A）

